

「東京 2020 オリンピックスポーツピクトグラム」の 展示・関連プログラム実施のご案内

「東京 2020 オリンピックスポーツピクトグラム」の発表にちなみ、富山県美術館にて現在開催している企画展「わたしはどこにいる？道標(サイン)をめぐるアートとデザイン」において、ピクトグラムの追加展示、およびアトリエでの特別プログラムを実施いたします。皆様にはご取材および広く告知へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

① 東京 2020 オリンピックスポーツピクトグラム追加展示概要

「わたしはどこにいる？道標(サイン)をめぐるアートとデザイン」展出品作家である、廣村正彰氏らがデザインした「東京 2020 オリンピック スポーツピクトグラム」全 33 競技 50 種類およびピクトグラムの検討過程を紹介するパネルを企画展内に特別展示いたします。

会場：富山県美術館 展示室 3

(「わたしはどこにいる？道標(サイン)をめぐるアートとデザイン」展内資料展示として)

期間：2019 年 4 月 27 日 (土) ～ 5 月 19 日 (日)

開館時間：9：30～18：00 (観覧受付は 17：30 まで)

※休館日 毎週水曜日 (5 月 1 日除く)、5 月 7 日 (火)

観覧料：一般：900(700)円／大学生：450(350)円

※高校生以下無料。() 内は 20 名以上の団体料金。

② オープンラボ ゴールデンウィーク特別プログラム「ピクトカードであそぼう」

東京 2020 オリンピックスポーツピクトグラム全 50 種、富山県美術館ピクトグラムなどを使い、カードゲーム (絵合わせ、競技当てクイズなど) を行います。

会場：富山県美術館 3 階ラボ (アトリエ内)

期間：2019 年 4 月 27 日 (土) ～ 5 月 6 日 (月) ※4 月 29 日を除く

午前：10:00～12:00 午後：14:00～16:00 (受付は 30 分前まで)

定員：一度に 20 名程度 (保護者、見守りを含む) ※満席時は空き次第ご案内します

対象：こども～おとなまで (小学校 3 年生未満は保護者同伴)

参加費：無料

お問い合わせ

富山県美術館

担当：広報：川浦、展覧会に関して：碓井 (普及課)、ラボに関して：瀧川 (普及課)

電話：076-431-2711

メール：abijutsukan@pref.toyama.lg.jp



【開発チーム／デザイナー情報】

■ 氏名：廣村正彰（ひろむら まさあき）

■ 生年月日：1954 年 8 月 6 日

■ 出身地：愛知県

■ 居住地：東京都

■ 職業：グラフィックデザイナー

■ プロフィール：

1988 年 田中一光デザイン室を経て、廣村デザイン事務所設立。グラフィックデザインを中心に、美術館や商業、教育施設などの CI（コーポレートアイデンティティ）、VI（ビジュアルアイデンティティ）計画、サインデザインを手がけている。多摩美術大学客員教授、一般社団法人ジャパנקリエイティブ代表理事。近著『デザインからデザインまで』（ADP）他。



■ 代表的な仕事（受賞歴含む）：

日本科学未来館、横須賀美術館、鉄道博物館、9h ナインアワーズ、すみだ水族館、東京ステーションギャラリー、名古屋城本丸御殿、そごう・西武、ロフトのアートディレクションなど。主な受賞歴：N.Y.ADC 9th International Annual Exhibition 銀賞、KU/KAN 賞、毎日デザイン賞受賞、グッドデザイン賞金賞、SDA サインデザイン大賞 など

■ 廣村 正彰 東京 2020 オリンピックスポーツピクトグラム開発チームデザイナーコメント

今回、東京 2020 スポーツピクトグラムのデザインに携われることになり大変光栄です。1964 年の東京大会で日本のデザイン界の先駆者たちが生み出してくれたレガシーを出発点に、躍動するアスリートの美しさを各競技のスポーツピクトグラムに表現させていただきました。その完成には実に 2 年近い年月がかけられており、多くの関係者の思いが込められています。この東京 2020 スポーツ ピクトグラムが、大会前から各競技への期待を膨らませ、東京 2020 大会本番を彩ってくれることを願っております。